



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成28年8月31日



テーブル対抗ゲームで盛り上がる会場

今回のパーティーでも、組合員企業の若手従業員で組織される問屋町従業員モニターのメンバーが、パーティーの企画から目玉賞品の選定、当日のゲームのアシスタントを務めるなど、大活躍であった。組合では今後も、若手従業員

パーティーをより楽しんでもらうために毎年実施しているテーブル対抗ゲーム。今年度は「ハイ&ローゲーム」と題したゲームが実施され、入賞者には、テーブル全員に問屋町の人気ラーメン店「らーめんはちもり」のラーメン無料券が贈られた。会場内の盛り上がりが高潮に達したのは豪華賞品が当たるお楽しみ抽選会。今回も組合員から多くの協賛品の提供を受け、200個を超える賞品がステージ上に準備された。当選番号がコールされるたびに参加者は一喜一憂。ステージ上から賞品がなくなると、パーティーは最後まで大盛り上がりであった。デジタル一眼レフカメラやダイソンハンディクリーナー、折りたたみ自転車などの豪華目玉賞品の当選者は満面の笑みで会場を後にした。

夏の人気イベント 問屋町納涼パーティーが盛大に開催

7月19日(金)、午後7時からホテル青森において「問屋町納涼パーティー」が開催され、66社436名が参加した。同パーティーは組合員企業の従業員に対する福利厚生事業として実施しており、今回で24回目を迎えた。西理事務長のあいさつの後、当パーティーを企画した江渡

労務対策委員長の乾杯の音頭でパーティーは開幕。会場中央にはピュッフェ形式の料理が数多く並んだほか、会場後方に特設コーナーを設け、和食バラ焼きや横手焼きそばといったB級ご当地グルメも提供。飲み放題メニューも生ビールをはじめ種類豊富に用意され、参加者の喉を潤した。



北口広告棟に設置された懸垂幕

問屋町北口広告棟に「北海道・北東北の縄文遺跡群を世界遺産に」と書かれた垂れ幕が設置された。来年度、創立50周年を迎える当組合では、節目の年を迎えるにあたり、地域・社会貢献活動の一環として、青森県が取り組む「北海道・北東北の縄文遺跡群」早期世界遺産登録に向けた普及啓発活動に協力。組合所有の広告棟懸垂幕掲示スペースを無償で提供してほしい」と述べた。

縄文遺跡群の早期世界遺産登録を目指しPR垂れ幕を掲揚



お楽しみ抽選会



問屋町従業員モニター

員親睦交流会やボウリング大会など、数多くのイベントを計画しているの、ぜひ多数のご参加をお願いしたい。

**共同倉庫床補正工事など
承認 第4回理事会**

7月25日(月)に第4回理事会が開かれ、審議の結果、すべて原案どおり承認された。

また事務局からは、1面での既報の第24回問屋町納涼パーティーの報告を行った。

主な案件審議は次のとおり。
案件一・事業委員会からの意見について
共同倉庫B棟床補正工事や問屋町会館外壁及び問屋町ストア屋根塗装工事の実施が承認された。

案件二・労務対策委員会からの意見について
問屋町健やか隊員育成研修の実施や問屋町健やかレターの発行などが承認された。

案件三・企画情報委員会からの意見について
国内経済視察会や公共施設等視察会の開催が承認された。

案件四・環境対策委員会からの意見について
問屋町地区側溝泥上げ作業の実施などが承認された。

案件五・組合員跡地買取資金及びつなぎ資金の借換について
案件六・平成28年度第5回理事会の日程等について。

意見について
問屋町健やか隊員育成研修の実施や問屋町健やかレターの発行などが承認された。

国内経済視察会や公共施設等視察会の開催が承認された。

問屋町地区側溝泥上げ作業の実施などが承認された。

**青森中央学院生と交流
青森問屋町経営同友会**

青森問屋町経営同友会では、青森中央学院大学の学生との交流事業を実施した。

交流事業は、同大学経営法学部の高山教授からの呼びかけにより実現。学生にとって

は働くことについて考え企業経営を知るきっかけとして、同友会会員にとっては若い世代のモノの考え方や捉え方を理解する場として、相互理解の促進を図るべく開催された。

交流事業は全3回行われ、同友会会員による「私の履歴書」と題した講話を毎回担当

立したとされる7つの神社を巡礼するもの。各神社の位置をなぞると北斗七星の形になり、大星神社を起点に巡礼すると商売繁盛にご利益があるといわれる。

参加者たちは神様への敬意を胸に7つの神社を巡り、思いの祈りを捧げた。

青森問屋町経営同友会では、青森中央学院大学の学生との交流事業を実施した。

交流事業は、同大学経営法学部の高山教授からの呼びかけにより実現。学生にとって

は働くことについて考え企業経営を知るきっかけとして、同友会会員にとっては若い世代のモノの考え方や捉え方を理解する場として、相互理解の促進を図るべく開催された。

交流事業は全3回行われ、同友会会員による「私の履歴書」と題した講話を毎回担当



講話する同友会の西中会長



学生とグループトークで意見交換

者が変わり実施。講話後には、同友会会員と学生が一緒になリグループトークを行った。グループトークのテーマは毎回異なり、「企業が欲しい人材×若者が働きたい会社」や「社会人基礎力とは」などのテーマについて、和気あいあいとした雰囲気の中で意見交換した。

参加した同友会会員からは、「大学生の感性に触れる良い機会になった」、「大学生の意見で気づかされることがあった」などの感想が寄せられ、有意義な交流会となった。

青森県の物流産業振興について学ぶ

青森県内5卸団地で組織される青森県流通団地連絡協議会では、7月13日(水)に、第2回団地組合職員研修会を開催した。

ラ・プラス青い森で開催された同研修会には、卸団地職員及び組合指導機関である青森県商工労働部、青森市経済部、青森県中小企業団体中央会から計16名が出席した。

研修の講師は青森県産業立地推進課の高屋主査が務め、青森県の取り組む物流関連産業振興について学んだ。

高屋主査は「現在、青森県

ではヤマト運輸(株)と連携し、新輸送サービス「A! Premium」(エープレミアム)に取り組んでいる。このサービスの最大の特徴は、スピード輸送と保冷一貫輸送である。輸送時間の短縮と鮮度・品質を保持した付加価値の高い物流を実現。青森県の主力商品である生鮮品を高鮮度のまま日本全国はもちろんなった」と説明した。

今後、青森県では、県内ものづくり企業を中心とした第2次産業分野への物流面における支援に向けた調査・検討が進められるとのこと。

研修会終了後には懇親会が開催され、情報交換を行った。

大星神社で例大祭が執り行われる

7月19日(火)に、大星神社において例大祭が執り行われた。当日は当組合の西理事長をはじめ、関係者及び近隣住民らが参加し、地域の安泰や五穀豊穡を祈念した。

例大祭前日の18日(月)には、前夜祭として宵宮が開かれ、境内には多くの露店が立ち並び、参道は大勢の参拝客で賑わった。

宵宮では地域の繁栄と安全を祈願した神楽舞と獅子舞が奉納され、見物客は氏神様に捧げる見事な舞や演奏を堪能した。



大星神社 宵宮 (神楽舞)

北斗七星巡り

7月7日(木)に、問屋町支店長・所長連絡会が主催する北斗七星巡りが行われ、同会会員ほか17名が参加した。

同事業は、その昔、坂上田村麻呂が津軽の平定を願った。



北斗七星巡り

建設機械
販売/リース/サービス

株式会社 ほくと

代表取締役 **川村 雄 藏**

青森支店 〒030-0112 青森市第二問屋町三丁目11-16
Tel.017-739-5771(代) FAX.017-739-5723
(URL) http://www.hokuto.com

鴨沢塗料株式会社
青森支店

日本ペイント特約店

■主要品目
塗料全般、塗料資材、塗装機、接着剤、各種テープ、溶剤類、他

青森支店 青森市問屋町一丁目12-4 TEL(017)738-1771(代)
E-MAIL: aomori@kamosawa.co.jp FAX (017)738-1772

問屋町たんしん

①公共施設等視察会
日時 9月28日(水)
8時30分～19時
岩手県紫波町

視察先
岩手県紫波町
(オガールプロジェクト)
参加料 1人2,100円
定員 20名

②フルーツバイキング
日時 9月22日(木・祝)
10時～13時
場所 青森観光りんご園

参加料 大人 1,500円
小人 500円
(小学生まで)

定員 50名

お申込み・お問い合わせは、
卸センター業務部(☎738
14711)まで。

業務報告

主要事項

- 7月
 - 1日▽商団連若手事務局長・事務局長候補対象勉強会
 - 4日▽青森地区労働基準協会 青森地区産業安全衛生大会
 - 5日▽同友会青森中央学院大 学交流事業(12、19日)
 - 6日▽青森中金会役員会・通 常総会
 - 7日▽問屋町支店長・所長連 絡会北斗七星巡り
 - 8日▽東北卸商業団地連絡協 議会通常総会
 - 11日▽第2回集団健康診断 (13日)
 - 13日▽あおもりコンピュータ・ カレッジ評議員会
- 15日▽第1回事業委員会
- 16日▽県団地協議会第2回団 地組合職員研修会
- 19日▽金融審査会
- 20日▽第24回問屋町納涼パ ーティ
- 21日▽簡易郵便局業務研究会
- 19日▽大星神社例大祭
- 20日▽第2回環境対策委員会
- ▽物流イノベーションシ ョン
- 21日▽フォーラムin青森
- ▽第4回問屋町合同清掃 縄文遺跡群PR懸垂幕 掲揚式
- 25日▽第1回企画情報委員会
- 26日▽第4回理事会
- 26日▽問屋町政経クラブ第1 回幹事会・第30回総会
- ▽安協問屋町支部第1回 街頭指導
- ▽青森県中小企業団体事 務局代表者懇話会第1回 役員会・通常総会
- 27日▽第1回税務研修会
- ▽同友会ハドミントン教室
- 28日▽青森地区労働基準協会 第1回労務管理部役員会

問屋町 ビジネススクール：
6日▽販売戦略(情報収集編)
7日▽Y's CLUB②
▽ビジネスマネー研修 (言葉づかい、電話応対編)
12日▽会計経理(試算表編)①
14日▽会計経理(試算表編)②
19日▽話を「聴く」スキル向 上研修①
21日▽話を「聴く」スキル向 上研修②
26日▽5S活動

経済雑感

第七十六回

青森大学 社会学部 教授 櫛引 素夫

前号に引き続き、青森大 学の櫛引教授による経済雑 感をお送りする。

【新幹線・第3の開業(下)】

8月初め、講演のため北 海道新幹線で函館市を訪れ た。列車の座席は若者や家 族連れでほぼ埋まっていた。

新幹線開業から3度目の 道南訪問だが、初めてじつ くり新函館北斗駅の周辺を 歩いた。再開発区域は大半 が未利用ながら、レンタ カー会社の営業所が並び、 木造のしゃれたレストラン も。駅舎の隣接地ではホテ

ルを含む複合商業施設の、数 百に離れた街区では10階建て の公営住宅の建設が進んでい た。遠来の旅行者には、新青 森駅と同様に「何もない空き 地」に見えるかもしれないが、新幹線の着工前から通い 続けた筆者は、虚を突かれた ような驚きを感じた。



青森大学 社会学部 教授 櫛引 素夫 氏

函館駅前人は人 でごった返し、 耳に入る言葉の 半ばは外国語 だった。駅間近 の再開発ビルは、1階の商業 施設が7月末に先行開業して いた。中層階に公共施設、上 層階には分譲マンションが入 る。

整備新幹線の開業では、特 に観光面のインパクトが重視 されてきた。その是非は措く

として、あらためて、観光を 産業の大きな柱とする函館市 と、行政・交通機能への依存 度が高い青森市との差異を考 えた。ブランド力や地元の蓄 積、さまざまな常識・感覚が 異なる二つのまちを、単純に 比較することは無意味だ。何 より、新幹線が

域づくりや道南の 来づくりやどん な効果をもたら しつつあるのか、 しつかりと検証 するには、一定の時間が必要。 ただ、函館市や、新幹線駅 が開業した木古内町をみてい ると、非常に強い地元の「意 思」を感じる。新幹線の乗り 入れを待望した函館市は、結 局、駅が18キロ離れた北斗市 北部に立地した。だが、落胆

するに、一定の時間が必要。 ただ、函館市や、新幹線駅 が開業した木古内町をみてい ると、非常に強い地元の「意 思」を感じる。新幹線の乗り 入れを待望した函館市は、結 局、駅が18キロ離れた北斗市 北部に立地した。だが、落胆

を乗り越え、観光地や居住 空間としてのレベルアップ に挑んでいる。また、木古 内町は1988年の津軽海 峡線開業時、十分な対策を 講じられなかった教訓から、 今回は周到に準備を整えた。 開業に先立ちオープンした 道の駅は、半年で入場者が 30万人に達した。

実は青森市も、3度の新 幹線開業の前後で大きな変 化が起きている。筆者は多 少の調査を実施し、今後の まちづくりに向けて報告や 提言を行ってきた。残念な がら、組織的な反応はまだ ない。まちの将来ビジョン も不透明だ。だが、今しば らくは「新幹線がまちをど う変えたか」をテーマに、 ウォッチと発信を続けよう と思う。

(完)

〒030-0113 青森市第二問屋町四丁目11-18
TEL: 762-1411 FAX: 739-7771 http://www.soft-academy.co.jp/

株ソフトアカデミーあおもり

●システム企画・開発・運用 ●IT教育 ●給排水CAD・申請 ●施設賃貸事業

私達はIT教育と企業の 情報化推進のサポートをします

STS ロジスティクス・ソリューション

株式会社 新開トランスポートシステムズ

- ◆総合物流事業
 - 包装・輸送・保管・荷役・搬入・据付・撤去
 - 包装資材加工及び物流機器の販売
 - 技術・情報システムのソフト開発及び販売
 - 工場クリーンルーム内の搬入・据付・搬出・輸送
 - 医療機器・半導体装置・精密機器・その他機器の輸送・搬入・据付・撤去
 - 倉庫内セキュリティ完備・一部空調設備有り
- ◆電気通信工事サポート
- ◆物流システム設計
- ◆ネットワーク&フットワーク
 - 輸送ネットワーク・情報ネットワーク・フットワーク
- ◆産業廃棄物収集運搬

本社 TEL: 03-5653-9335 FAX: 03-5653-9337
青森出張所 TEL: 017-728-7080 FAX: 017-728-7081

新型定期預金

マイナーベスト

有利な金利設定 * 固定金利の半年複利 1年,2年,3年から期間が選べる

*当金庫内の商品と比較した場合

●詳しくは店頭チラシまたはホームページをご覧ください。

青森支店
〒030-0861
青森市長島 2-1-7
TEL 017-734-5411

人を守る。未来を思う。
商工中金

問屋町健やかレター創刊

この度組合では、健康情報紙「問屋町健やかレター」を創刊した。

青森県は平均寿命が男女共に全国最下位で、40〜60代の働き盛りで亡くなる、いわゆる現役死も非常に多い。県では「短命県返上」をスローガンに、県民の健康増進に全県を挙げて取り組んでいるところである。

当組合でも、組合員企業で働く従業員の現役死を減少させ、本県の「短命県返上」に貢献すべく、平成26年度から健康事業を開始。同事業にお

団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、今年度から青森県安全運転管理事業主会の会長に就任した、青森精機(株)の小又社長にお話を伺った。

道路交通法で定められた安全運転管理者制度は、業務上、自動車を用いる機会が多い事業所等において自動車の安全運転管理を徹底するため、一定規模の事業所等に、安全運転管理者、副安全運転管理者を選任することを義務付けている。青森県安全運転管理事業主会は、安全運転管理者制度に対する事業主等の理解と協力を得るため、昭和56年1月に全国で初めて組織された。

ける健康増進に対する啓蒙活動の一環として、健康づくりのための情報を定期的に組合員に届ける「問屋町健やかレター」を発行することとした。

同紙は、毎月1回発行し、理事会や委員会、昼食会など、組合員が集まる会議等で繰り返し配布。その他、組合ホームページへの掲載や問屋町会館1階ホールのパネルレットスタンドへも設置するなど多くの目に触れさせ、健康づくりに対する意識醸成を図る。

初回のテーマは「追跡！糖質制限ダイエットの落とし穴」。糖質制限ダイエットは体重が簡単に落ちると評判のため、最近巷で流行している。



青森県安全運転管理事業主会 会長 青森精機(株) 代表取締役 小又 喜代志 氏

取組等について尋ねると、「当会では、一般社団法人青森県安全運転管理者協会と連携して、基本方針である『事業所が担う安全安心』として信頼や、スローガンの『繋げよう無事故・無違反』を効果的に推進し、企業の社会的使命の遂行と交通事故の防止に寄与することを目的に活動を行っています。今年度は飲酒運転の根絶、交差点事故・追突事故の抑止を重点対象として、各季交通安全運動への積極的参加や広報啓発活動の推進、安全運転管理セミナーの開催等、無事故・無違反を目指した活動を行っています。また、青森精機(株)としては、

毎月職員へ安全運転手当を支給しており、ここ数年は無事故・無違反を継続しております」と自社の取り組みについても紹介してくれました。

新会長としての抱負について聞くと「まずは交通違反を無くすることが先決！死亡事故は年々減少してきているが、これからのゼロを目標に頑張っていきたい」と笑顔で語った。

同氏の好きな言葉は「対話」。人と話をするのが好きで、他人から聞く話とは違う視線があり、大変勉強になります」と締めくくった。(77歳) (藤本)

問屋町 創刊号 健やかLetter

発行日：平成28年7月20日 発行所：協会の青森県卸センター

本誌は、組合員の皆様の健康づくりに組合が少しでもお力添えできたら、という思いで創刊いたしました。これから健康づくりのための情報を毎月お届けいたします。目指せ「短命県返上」!

追跡！糖質制限ダイエットの落とし穴

糖質制限ダイエットってなに？

体重が簡単に落ちると噂の糖質制限ダイエット。これは、細胞の中のミトコンドリアが脂肪をエネルギーに変えてくれるため、糖質を制限すると自然とやせるという方法です。しかし、この方法には落とし穴もあり、体重が減るからと、安易に糖質を制限し過ぎてしまうと、あつという間に筋肉が落ち、体調不良になる可能性があります。糖質を減らした分はタンパク質や脂質で補い、必要なカロリーは確保しなければなりません。

安全な糖質制限ダイエットの4つのポイント

1. ご飯やパン、麺類などの主食を減らす目安は普段の半分程度まで。
2. 糖質を減らした分、タンパク質、脂質をしっかり摂る。
3. 食物繊維をしっかりと摂る。
4. 3食バランス良く糖質を減らす。

詳しくは裏面をご覧ください。

編集後記

四面で「問屋町健やかレター」の創刊をお知らせしましたが、組合では健康事業に取り組みには「医学・健康の知識・情報」を正確にお伝えすることがキーと考えました▼そこで組合では「健やかレター」をアリの的に配布するのではなく、組合が開催するあらゆる機会に、組合職員が出席者にレターの内容を説明したいと考えています▼前号で予告しました健康経営の第一人者で医学博士・東京大学特任助教の古井祐司氏の「云々の業績は社員の健康状態で9割決まる」をご紹介します▼今後ますます労働力人口が減少していく中で2013年にスタートしたのが定年延長義務化。この定年延長を経験やノウハウのある人材を確保する好機にするか、あるいは体調不良で休んでばかりで利益を生まない社員を増やすことになってしまいかは経営者によりまします▼その鍵となるのが健康経営への取組です。実は社員の健康状態と生産性低下には「意外な関係」があるそうです。働く現場にいる社員の体調を軽視すると事故にはならずとも、実は大きな「損失」が待っているというデータがアメリカで発表されました▼社員の体調不良による欠勤を「アブゼンティズム」、出勤しているのに体調不良でパフォーマンスが低下していることを「プレゼンティズム」といいます▼欠勤している方が目につきやすいことから、経営者にしてみれば、欠勤の方が問題視するかもしれませんが実は、プレゼンティズムの方が問題だそうなんです。この稿続く

クルマのことならオートバックス

青森中央インターそば

オートバックス青森中央店

青森市第二問屋町1-1-1 電話 017-729-2130
営業時間 AM10:00~PM7:00

RAB 開発株式会社

建築設計・監理／環境整備計画コンサルタント
情報設備・通信システムの企画、設計、施工

青森市第二問屋町3丁目2番35号
TEL 017-739-1666 FAX017-739-1664

<http://www.rabkaihatu.co.jp>